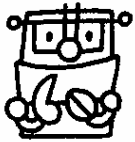


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /
大地のしくみ / 理解シート

火成岩とたい積岩の見分け方を、教えて



たい積岩は、^{すな}砂やねん土が固まったくずれやすいものが多く、
火成岩は、つぶがつまってならんだ、かたいものが多いのさ。

たい積岩は、くずれやすく、化石などをふくむことが多い

水が運んだ岩石のかけらの小石やどしゃが、長い間に積み重なって^{ちそう}地層ができ、その地層が固まってできたのが、たい積岩です。ごく一部には、^{かざんばい}火山灰などがふり積もった地層が固まったものもありますが、たいていは、水のはたらきでできたものです。そのため、中に入っている小石などはこすられて角が丸くなっていて、化石などがふくまれていることも多いです。

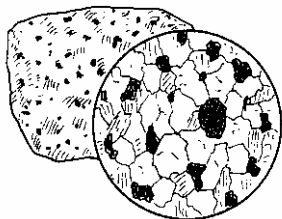
地層が固まったものですから、地層のしまもようが残っていることも多いです。水には強いけれど、熱には弱く、ぼろぼろにくずれやすいものが多く、ねん土が固まってできた、かたいねん板岩などは、うすくはがれやすい性質があります。

火成岩は、かたくて熱に強いが、化石はふくんでいない

火成岩は、火山のふん火で出てきたよう岩が、冷えて固まってできます。急に冷やされたかゆっくり冷やされたかなどで、岩の表面は、大きなつぶ（^{けっしょう}結晶）がかみ合っていたり、小さいつぶの中に大きいつぶがまじっていたり、つぶが見られなかったりというように、ちがってきます。つぶは、どれも角ばったものが多いです。

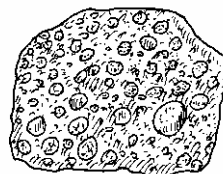
化石をふくんでいることはなく、かたくてくずれにくく、地層のようなもようも見られません。ふつう、熱には強いけれど、水には弱いものが多いといえます。

火成岩

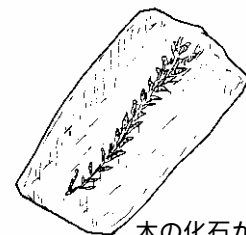


大きいつぶがかみ合ったかこう岩

たい積岩



地層が残っているれき岩



木の化石が残る
ねん板岩